

■■■ 北海道CT遠友ser会 mail ◆ No.14 ◆ 2015/2/27

■■■

北海道CT遠友ser会

http://enyouser.umin.jp/ □

■■■

■■■

■■■

■■■

■■■

■■■

■■■

□ □

□ □

□ □ □

■

■ ■

■ ■

■ ■

■ ■

■ ■

■ ■

■

■

■

■■□ CONTENTS □■

- (1) 【研究会レポート：第6回ADCT研究会】
- (2) 【MSCT,ADCTデスク参加報告】
- (3) 【CT検査室紹介No.3】
- (4) 【旭川東芝CTユーザー会 開催報告】
- (5) 【営業マンレポートNo.14】
- (6) 【連載 東芝CTアプリからのワンポイントアドバイスPart11】
- (7) 【お知らせ】
- (8) 【編集後記】

※このメールは等幅フォントでご覧ください。

●(1) 研究会レポート：第6回ADCT研究会.....●

当世話人より研究会参加レポートが届いております。
2015年1月17日に福岡にて開催されました「第6回ADCT研究会」です。

会の特徴や講演の情報など、どちらも有用な情報が書かれておりますので
ぜひご一読ください！

[レポート詳細]

◇第6回ADCT研究会参加報告

JCHO北海道病院 山口隆義

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1019/ADCTmeeting_Report.pdf

●(2) MSCT,ADCTデスク参加報告.....●

昨年12月13日(土)、今年の1月18日(日)にMSCTデスク,ADCTデスクが開催され、今回、当世話人のお二人がそれぞれの会に、北海道のユーザー会代表として参加されました。

MSCTデスクでは、会員の皆様からいただいたアンケートを集計し、各地区から参加されたユーザー会代表の方々や東芝の開発担当者の前でアンケート結果を発表していただきました。

アンケート結果を含めた第1回MSCTデスクの参加報告は下記よりご確認ください。

[レポート詳細]

◇MSCTデスク参加報告とアンケートの結果 勤医協中央病院 船山和光

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1017/MSCTdesk_Report.pdf

また、ADCTデスクでは、第1回目ということで遠友ser会からの意見を述べる機会は今回ありませんでしたが、ユーザーとメーカーの架け橋となるような可能性を強く感じる事ができた「デスク構想」。その報告を下記よりご確認ください。

[レポート詳細]

◇ADCTデスク参加報告とアンケートの結果 北海道大学病院 笹木 工

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1018/ADCTdesk_Report.pdf

※デスクとは・・・

各地域の東芝CTユーザー会代表の方にご参集いただき、各地域で集約されたCT装置・サービス・営業へのご意見に対し、東芝側とディスカッションを行う会です。このうちMSCTユーザーの代表者をMSCTデスクへ、ADCTユーザーの代表者をADCTデスクへそれぞれ召喚しています。

●(3) CT検査室紹介No.3●

北海道CT遠友ser会会員様が勤務されている施設のCT室をご紹介します。普段、他の施設の検査室や操作室を見る機会はなかなか無いかと思えます。ここでは、検査室や操作室のレイアウトを工夫している施設や、検査についても工夫されていること等を紹介していただきます。

第三回目として、AquilionPRIME、AquilionCXLを使用されている勤医協中央病院の

CT室を紹介していただきました。
複数端末が1箇所を設置している施設での思わずクスツとなるお話や、患者さまへ配慮した工夫などをDJ デコ・ハゲ山氏 (a.k.a. 当会世話人・船山さん) が楽しく紹介してくれています。お見逃しなく！

[レポート詳細]

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1016/kincyu_CT.pdf

尚、私のところも是非紹介したい！〇〇病院のCT室は考えられているよ！など、ご要望や情報がありましたら下記URLにてお知らせください。

http://enyouser.umin.jp/inquiry_faq.html

●(4) 旭川東芝CTユーザー会 開催報告 ●

旭川にて東芝CTユーザー会を去る1月30日に開催いたしました。
地方都市での開催は函館に引き続き今回が2回目。予想を大幅に上回る39名の参加者や、特別講演を賜りました当会副代表でもある勤医協中央病院の船山さんのおかげで盛況な会となりました。
当日の内容については下記レポートを参照下さい。

[レポート詳細]

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1015/Asahikawa_Usersmeeting.pdf

●(5) 営業マンレポートNo.14..... ●

今回は札幌エリア担当の藤得が自己紹介いたします。
北海道での二度目の冬をいままさに超えようとしている若手営業・藤得の日常を、下記にご紹介しております。

[レポート詳細]

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1014/14th_salesman.pdf

[過去のレポート詳細]

http://enyouser.umin.jp/archive01/achive_info.html

●(6) 連載 東芝CTアプリからのワンポイントアドバイスPart11 ……………●

日頃頂くCT装置の操作・臨床のご質問の中からピックアップして毎号掲載いたします。

スキャン計画に役立つ機能 ～スキャンモードとVARIエリア～

http://enyouser.umin.jp/_src/sc1013/Appli_scanplan.pdf

[過去のワンポイントアドバイス]

http://enyouser.umin.jp/archive01/achive_info.html

●(7) お知らせ ……………●

◆CT関連セミナー情報

東芝出展展示会・学術セミナーのご案内（北海道）

◇現在、ご案内できるイベントはございません。

東芝出展展示会・学術セミナーのご案内（全国）

◇2月28日（土）12:45～13:45 日本画像医学会 ランチョンセミナー

場所：ステーションコンファレンス東京

座長：新津 守先生（埼玉医科大学 放射線科）

演者：濱本 耕平先生（自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科）

（MR）「Vantage Titan 3Tを用いた非造影MRA—肺血管・血流動態イメージングの臨床応用」

演者：真鍋 徳子先生（北海道大学病院 放射線診断科）

（CT）「320列面検出器CTを用いたダイナミック心筋パーフェュージョンCT」

◇3月7日（土）12:00～13:00 第44回日本神経放射線学会ランチョンセミナー4

場所：第2会場（名古屋 キャッスルプラザ 梓の間）

座長：加藤 庸子 先生（藤田保健衛生大学 脳神経外科）

演者：片田 和広 先生（藤田保健衛生大学 医学部 先端画像診断共同研究講座）
「CT 診断の未来 ー機器開発の視点からー」

◇4月18日（土）12:00～12:50 JRC2015ランチオンセミナー

場所：パシフィコ横浜

座長：木村 文子先生（埼玉医科大学国際医療センター画像診断科 教授）

演者：山田 祥岳先生（慶應義塾大学医学部放射線科学教室）

「循環器・大動脈領域におけるAquilion ONE ViSION Editionの
有用性」

大野 良治 先生（神戸大学大学院医学研究科 先端生体医用画像研究
センター）

「呼吸器領域における320列面検出器CTの臨床応用

ーFull IR・Perfusion技術を用いた画像診断ー」

平井 俊範 先生（宮崎大学医学部放射線医学講座）

「頭部・頸部領域における320列面検出器CTの臨床応用

ー脳腫瘍への応用とSEMARの使用経験ー」

その他のイベント情報はこちら

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/event/>

●(8) 編集後記

今回は学会参加のお話です。2月の中旬に名古屋で開催した日本脳神経CI学会総会
に出席してきました。学会の参加の7割以上が脳神経外科医でその他に放射線科医、
神経内科医、診療放射線技師が参加しています。学会の内容はCT, MRIのみならず、
あらゆる画像診断機器を用いた脳神経系の診断及び手術支援に関する学会として運
営されています。何故、診療放射線技師が脳神経領域の学会に？ということですが、
脳神経領域に関わらず循環器領域や消化器領域においても画像診断機器の特性及び
画像の詳細に関する知識を最も持っているのは診療放射線技師であるのに臨床系の
学会で画像に関する内容を我々が発表しない又は関わらないのはどうなんだろう？
と思い6-7年前から参加しています。

なんて、、、本音の部分は臨床の学会って楽しいからです。

普段CTの領域で我々の関係する学会では、分解能、被ばく、画質評価、逐次近似、

等の演題を良く見かけます。その領域に関しては我々が最も医療現場で知らなけれ
ばならないし、重要な学術の分野ではありますが、それだけでは飽きちゃいます。
たまには臨床にどっぷり浸かってみたくなるのです。病気の事も一杯学べるし普段

作成している画像がどのように臨床で役立られているのかも解ります。また普段聞くことが出来ない著名な先生のお話（講演）も聞けるし、更にお弁当や情報交換会（最近行く学会では無料）も素晴らしく、頭もお腹も満たしてくれます。そして学会に行くと臨床科の先生方達とも今までより更に仲良くなれるような気がします（個人的な意見です）。

そうは言っても、参加は大変かも知れませんが診療科の先生に誘われたり、病院で出張の許可が出た場合には一度臨床系の学会にも参加することをお勧めします。最近では乳腺外科や循環器系の学会では診療放射線技師の参加も多くなってきていますので、あまり心配もないと思います。あと、意外に地方開催が多いのでアフター学会も楽しいと思います。横浜もいいけど、暖かい場所や海の幸が美味しい所もいいですよ！次は北陸、、甘海老、昆布、ます寿司、、薬以外にも沢山ありそう、、

I 医大 H

● ●

■過去のメルマガを閲覧するにはこちらよりご覧ください。

http://enouser.umin.jp/archive01/achive_info.html

=====

このメールマガジンは、北海道CT遠友ser会のホームページから会員登録をされた皆様へ配信しております。もし、お心当たりが無く配信を希望されない場合には、大変お手数でございますが下記の配信停止手続きをお願い申し上げます。
ご登録情報の変更は、お手数ですが以下のページより手続きをお願い致します。

■配信停止

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpao->

5da80dee47fea249f2eef2657cc89444

■登録情報変更

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpam->

9a9db7c7d78cda90ff60704a2ce7d354

.....

<お問い合わせ>

本メールアドレスは発信専用です。返信いただきましてもご回答は差し上げられません。

お問合せやご要望等は以下のページからお願い致します。

http://enouser.umin.jp/inquiry_faq.html

.....

<個人情報保護方針>

弊社の個人情報保護に関する考え方については、下記のページをご覧ください。

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/utility/privacy.html>

.....

編集・発行

・北海道CT遠友会

・東芝メディカルシステムズ株式会社 北海道支社

担当（お問合せ先）： 森 淳一， 小山 知佳， 六車 朋子， 井上 学

TEL：011-785-3131